



### 「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館 オープン！

4月30日、日帰り入浴施設「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館がオープンしました。当日は、関係者約140名が出席し、記念式典が行われました。式典では地元赤倉小学校の全児童による松尾芭蕉「おくのほそ道」の暗唱や最上町産の木材で作られた楽器の演奏などの披露があり、とても華やかな式典となりました。オープン後には、アイスクリームやわた飴などの振る舞いも行われ、町内や県内外から450名もの入浴者が来館し、大いににぎわいました。

施設内には、大露天風呂やサウナ、産直施設などがあり、情報スペースでは山形県最上総合支庁との連携による最上小国川流水型ダムに関する情報や周辺市町村の観光情報、おくのほそ道関連の情報の紹介もありますので、ぜひご利用ください。



### 桜舞う中、全力疾走 最上中学校大運動会

「Never give up～仲間とともに 勝利の道へ～」をスローガンに、最上中学校大運動会が4月29日、同校グラウンドで開催されました。晴天に恵まれた中、赤・白・青の3組に分かれた生徒たちは、徒競走や綱引き、騎馬戦といった団体種目を通して、白熱した闘いを繰り広げました。喜びの笑顔を見せる生徒もいれば、悔し涙を流す生徒もいましたが、最後には皆さわやかな表情で互いの健闘を讃え合い、会場は心地よい拍手に包まれました。



# キラリ☆ 最上の子どもたち

シリーズ 26

磨こう 君の才能！  
モガミボクシングクラブの巻

昨年秋の国民体育大会に、最上町出身の選手が5名参加しましたが、そのうち4名はボクシング競技での出場でした。内訳は3名の高校生と1名の大学生です。特に高校生は東北大会で団体初優勝するなど、目覚ましい活躍で注目を浴びました。

この活躍を支えているのが、小学生から基本を学ぶことができる「モガミボクシングクラブ」です。「ボクシング」というと血気盛んな若者が行う荒々しいスポーツというイメージを抱きがちですが、もともとは護身術として発展したものです。ボクシングが、現在のようになっかかりしたルールの下でスポーツとして行われるようになったのは、18世紀のイギリスであると言われてます。前々回のロンドンオリンピックからは女子種目も行われるようになり、正しく行いさえすれば、決して危険

なスポーツではありません。  
モガミボクシングクラブの歴史は古く、今年度で40年の活動実績があります。今回は、週1回火曜日に行われている練習を参観し、お話を聞きしました。

#### 初心者にも丁寧な指導

Q 現在クラブで活動している人は何名ですか。

A 小学生が3名、中学生が4名です。指導は代表含め4名で行なっています。時々、町内外のOBや高校生、大学生も来て指導してくれます。

Q 活動内容を教えてください。

A 練習は毎週火曜日の夜7時30分から9時まで、夏季は西公園体育館、冬季は中央公民館で行なっています。

内容は、準備運動の後、シャドーボクシング（実戦をイメージしたパンチの出し方やステップなどでフォームのチェックを行います。次に、トレーナーが持つミットにパンチを当てるミット打ちや、

二人で組みになって行うマスボクシングと続きます。

基本的に、ボクシングは3分戦って1分の休憩が入るので、練習でも3分動き、30秒から1分休憩というインターバルで何回か繰り返し、時間の感覚が身に付くようにします。

Q 大会にも参加していますか。

A 年間何回か、県内はじめ近県で開催される大会に参加しています。また、高校生の試合の観戦も楽しみの一つです。

大会参加にあたっては直前に医師の診断を受ける必要があります。安全には最も配慮してあり、安全には最も配慮してあるスポーツです。ちなみに、怪我が受傷率は他のスポーツよりずっと低く、安全性が証明されています。

Q これからの抱負を聞かせてください。

A 年々子どもたちも少なくなっていますが、できるだけ多くの人にボクシングの面白さを味わってもらいたいと思っています。興味のある方はぜひ練習を見に来てください。

#### 最上町から全国へ

最終和やかな雰囲気の中で行われている練習を参観し、硬いイメージのあったボクシングに対する印象が変わりました。それと共に、熱い思いで指導にあたるスタッフの姿に頭が下がる思いでした。

モガミボクシングクラブの活躍に、これからも注目していきたいと思えます。

最上町教育委員会  
教育文化課・幼児教育課



ミット打ちで汗を流す団員